

平成 29 年度 第 II 期収蔵品展

# 宮本三郎の顔・貌

## FACES in Saburo Miyamoto's Art

2017.8.5 sat → 12.3 sun

- 展覧会名 宮本三郎の顔・貌 FACES in Saburo Miyamoto's Art
- 会 期 2017(平成29)年8月5日(土)～12月3日(日)
- 休 館 日 毎週月曜日 ただし、9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館、  
9月19日(火)、10月10日(火)は休館
- 開館時間 10:00～18:00 入館は17:30まで
- 観 覧 料 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上、中小生100円(80円)  
障がい者100円(80円) ただし、小中高大学生の障がい者は無料  
※介助者(当該障がい者1名につき1名)は無料  
※()内は20名以上の団体料金  
※小中学生は土日、祝休日、夏休み期間は無料

### ■お問合せ

世田谷美術館分館

## 宮本三郎記念美術館

担当 石居美也(広報・事務) / 加藤絢(学芸員)

TEL 03-5483-3836 FAX 03-3722-5181

Email miyamoto.annex@samuseum.gr.jp

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13



《鏡の前の婦人像》1945年-48年頃

## □ 展覧会概要

生涯にわたり、人物を主題とした作品を、その制作活動の中心に据えていた宮本三郎（1905－1974）。「身体」の表現に注目した前期の展示（～7月23日迄）に引き続き、本展ではそのひとの印象を少なからず左右するといえる、「顔」や「表情」に焦点を当てます。

家族や近い人物をはじめ、プロのモデル、異国の地で出会ったひと、はたまた華やかな舞台上で活躍する歌手や女優、ダンサーまで、さまざまな人物を作品に登場させた宮本が描く、それぞれの顔。意思を語る眼差し、思わせぶりの目線や、場面に物語を添えるような表情。そして、自らにとって最も身近であるはずの存在を描いた、自画像。雑誌の表紙を飾る人物画や、対峙するモデルとの距離感がより密に感じられる素描作品も、魅力的です。

展示室に並ぶ、それぞれの「顔」を入り口として、生涯を通じて多様なスタイルや表現方法を模索し探求し続けた洋画家・宮本三郎の、彩り豊かな作品世界をお楽しみください。

## □ 宮本三郎について

宮本三郎(みやもと・さぶろう)は、1905年5月23日、現在の石川県小松市松崎町に生まれ、1935年7月より世田谷区奥沢にアトリエを構えた、昭和を代表する世田谷区ゆかりの洋画家です。

川端画学校で富永勝重、藤島武二、また個人的には安井曾太郎に指導を受け、戦前は二科展を中心に発表を行いながら、雑誌の挿絵や表紙絵の制作でも活躍。戦時中は従軍画家として藤田嗣治、小磯良平らとともにマレー半島、タイ、シンガポールなどに渡り《山下、パーシバル両司令官会見図》(1942年)をはじめ、数々の作戦記録画を制作しました。

戦後は、熊谷守一、田村孝之介らと第二紀会を設立。生来の素描力を土台に、さまざまに画風を変えながらも、人物を主たるテーマとして制作、晩年は花と裸婦を主題にした豪華絢爛な絵画世界を構築します。1974年10月13日、腸閉塞による心臓衰弱のため、69歳で他界しました。

宮本三郎記念美術館は、宮本三郎が長きにわたり制作の拠点とした世田谷区奥沢の地に、2004年に開館した美術館です。展覧会だけではなく創作活動や各種講座を企画、開催しています。



## ■ イベント開催情報

サマー・ワークショップ 「かおかおブローチをつくろう！」	身近な素材を貼り合わせて、カラフルなブローチを作ります。材料を自由に組み合わせて、にぎやかに、泣いた・怒った・笑った顔を集わせましょう！
---------------------------------	--

日時：8月9日(水)、10日(木)、11日(金・祝)  
13:00～16:00(時間中随時受付・事前申込不要)  
場所：宮本三郎記念美術館 1F講座室  
参加費：1回100円  
講師：外村友紀(造形作家／YellowPony主催)

●講師プロフィール  
1977年東京生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業後、(株)オリエンタルランド入社。その後、フリーでの創作活動を開始し、個展などで作品を発表。2012年、2013年の東京コレクションではNé-net(ネ・ネット)の舞台美術などを担当した。また2007年には子どもワークショップ空間「YellowPony」を設立し、作品発表と並行し、商業施設や遊園地など、様々な場所でオリジナルのワークショップを開催している



□広報用作品画像



1、《家族席》1934年



2、《(歌手)》1964年頃



3、《(鏡の前の婦人像)》1945-48年頃



4、《(婦人像)》1938-39年頃



5、《自画像》制作年不詳



6、《(うつむく少女)》1945-48年頃

各画像は広報用として提供しております。ご希望の際は広報担当までお問合せください